

普及活動情勢報告（平成26年6月分）

須崎農業振興センター農業改良普及課

J A津野山シシトウ部会甘長トウガラシ生産者が交流会へ参加



J A南国市管内で甘長トウガラシ生産者の交流会が5月20日に開催され、9名の生産者が参加しました。

交流会では、現地栽培ほ場を見学し、生産者は仕立て方や生育の違いが参考になったようです。会議では、振興センターから、収穫までの日数や、仕立て方による着果数の違いなど、昨年に調査した雨よけ栽培の結果を報告しました。

振興センターでは、他産地での栽培や取り組みで参考になることを部会活動の中で報告していきます。

J A土佐くろしおキュウリ部会の勉強会



キュウリ部会の勉強会が5月21日に開催され、6名の参加がありました。炭酸ガス施用現地実証試験の経過について報告を行い、厳寒期の着果率安定が確認できたこと、その結果、収量に結びついたこと等について説明しました。

参加農家からは、炭酸ガス施用の設備費や、いつ頃から施用すると効果が上がるのか等、積極的な質問ができました。参加者の希望もあり、勉強会後に現地の生育状況を確認しました。

振興センターでは、試験結果を取りまとめて、適正な情報提供ができるように検討していきます。

J A津野山シシトウ部会現地検討会



5月26日にJ A津野山シシトウ部会の現地検討会を開催し、シシトウ生産者6名と甘長トウガラシの生産者28名が参加しました。

振興センターからは、誘引・整枝や追肥等の今後の栽培管理について説明しました。栽培2年未満の経験年数が少ない生産者がシシトウで3名、甘長トウガラシで7名と多いため、樹を見て生育診断できるように具体的に説明し、自分のほ場での観察の参考にしてもらいました。今後も安定生産に向け、部会活動を支援します。

J A土佐くろしお雨よけシシトウ部会の現地検討会



5月29日にJ A土佐くろしお雨よけシシトウ部会の現地検討会を上ノ加江地区、須崎地区、葉山地区の3ヶ所で開催し、22名の生産者が参加しました。

振興センターからは、今年の気象状況や、収穫初期の整枝・誘引、今後の管理等について説明を行い、特に整枝・誘引については実演も交えながら、主枝の摘心や側枝の「ため」について生産者の方々と議論を行いながら、技術の向上を図りました。

今後もJ Aと協力し、生産者の技術向上の支援を行っていきます。

おおのみエコロジーファーマーズ田植え体験交流



おおのみエコロジーファーマーズ（集落営農組織）と高知県立大学健康栄養学科との交流による田植え体験が6月1日に開催され、大学生17名が参加しました。この交流は平成25年から始まり、田植えや稲刈りの栽培体験・生き物調査・レシピ開発・食味検査と幅広い交流が行なわれています。昼食には大野見米のおにぎりに加え、大学生の考案した「ごはんがすすむレシピ」の料理も提供されました。振興センターは、田植え指導及びイベント運営支援を行いました。今後も8月の生育調査、10月の収穫体験の支援を行います。

神母野（いげの）営農組合農作業体験交流



神母野営農組合が消費者との農作業体験交流を6月7日に実施し20名が参加しました。神母野営農組合は集落営農組織として農作業受託に取り組んでおり、将来、米の販路拡大を視野に入れたファン作りを目的に、食農教育体験交流事業を活用して体験交流会を初めて実施しました。昼食には炊きたての神母野の米が提供され、参加者からは「美味しい！」との声があがりました。振興センターは、開催への運営支援、当日の作業指導支援を行いました。今後も8月、10月に体験交流を計画しており、参加者と組合の双方の満足度が高くなるように支援します。

J A土佐くろしお管内農業振興連絡協議会



6月9日に、J A土佐くろしお管内の農業振興連絡協議会第1回委員会を開催し、関係機関が情報交換を行いました。

会議では、地域振興戦略、品目別戦略、販売戦略の各プロジェクトチームの今年度計画が了承され、また、情報交換では、J Aから燃油高騰対策のセーフティーネット及びヒートポンプ等の導入状況を、振興センターからは、ミョウガ養液栽培における排液処理装置開発等の状況を報告しました。今後とも、各機関が連携して情報交換を行い、産地振興に取り組んでいきます。

天敵導入用のゴマ栽培に関する勉強会



シントウ、ピーマン部会の合同勉強会が6月11日に開催され、23名の参加がありました。土着天敵の有効な確保について説明を行ったところ、生産者からは、1反当たりの栽培本数や、天敵（タバコシカメ）に対する農薬の影響について質問がありました。農薬の影響については、後日、一覧にして情報提供することになりました。

天敵定着用にゴマ栽培も行なっているため、ゴマの生育や天敵の確保について現地指導等を継続します。

直販所出荷者対象に農薬使用履歴の記帳説明会を開催



中土佐町農産物直販所（会員数 108 名）の出荷者を対象に、農薬使用講習及び生産履歴記帳の指導を 6 月 16 日・17 日に開催し、28 名が参加しました。設立 3 年目で販売額も年々増加しており、地域から信頼される直販所を目指すことから、参加者は取り組みの必要性を感じていました。履歴様式は、関係機関が連携して記入・確認しやすく作成したため、「わかりやすい」「難しくなさそう」と感想がありました。今後は、参加できなかった会員向けに周知を行うとともに、他の直販所でも説明会を随時開催していきます。

ユズ部会が夏期せん定の講習会開催



J A 津野山ユズ部会では、栽培管理等講習会を 6 月 19 日に開催し、48 名が参加しました。梶原町 2 ヶ所（四万川、梶原）、津野町 2 ヶ所（宮谷、芳生野）の栽培モデル園を活用して、芽かき、夏期せん定等の栽培管理や病虫害防除について指導を行いました。参加者は、栽培管理について疑問が多くあるようで、取り除く枝の判断など、活発な質問がありました。

今後も、J A と協力しながら、ユズ部会への情報提供を行います。

指導関係者を対象としたミョウガ勉強会を開催



J A 土佐くろしお管内の指導員を対象としたミョウガ勉強会を 6 月 23 日に開催し、J A 12 名、振興センター 4 名が参加しました。午前中に 4 件のハウスを巡回して、灌水等の栽培管理実績と生育状況の検証を行い、また、午後は、実証ほの調査数値を基に、環境制御技術について検討し、考察について活発な意見交換を行いました。ミョウガに詳しくない参加者もいるため、定期的に勉強会を開催し、指導機関が共通認識を持って生産者へ情報提供を行なっています。